

MOBILITY RESORT
MOTEGI 

みんなでBIKEを楽しむお祭り!

 **2024**
Moto
フェスティバル

11.9 sat.
10 sun.



Moto  **6 Hours**

参加の手引き

❖❖❖❖❖❖ 特に重要な内容 ❖❖❖❖❖❖

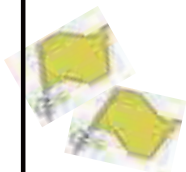
●黄色旗区間の追い越し禁止



1本の振動表示

その先にトラブル地点あり危険。

場合によってはコース上に障害物あり。トラブル地点を回避できる速度まで減速し、注意して走行してください。



2本の振動表示

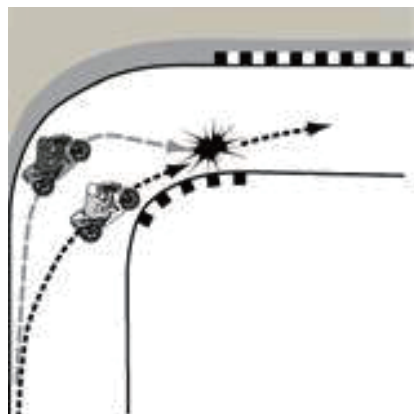
車両が走行ライン上に残ってしまった場合など、より危険な状況の場合表示。十分注意してください。

また、車両の撤去作業中にも表示されます。

※黄旗区間では走行者同士の追越は禁止です。



●急なライン変更をしない



- ・コーナー進入時にアウトにはらみ、急にレコードラインに戻ろうとしたため、イン側から追い越そうとしていた車両と接触することがあります。急なライン変更はしてはいけません。
- ・レコードラインを走行するライダーも、速度の遅い車両ほど小回りがきくので突然のラインチェンジ、コーナーでの接触等が予想されます。余裕をもって「前を走行するライダーの予期せぬ行動」に注意しましょう。

Moto フェスティバル イベント趣旨

モビリティリゾートもてぎでは2021年より、モータースポーツを仲間や家族と気軽に楽しむイベント「Motoフェスティバル」を開催しています。

125cc以下のミニバイクを使用した3時間耐久「Motoミニ3Hours」からスタート、2023年からは走行時間を6時間にバージョンアップし、6時間耐久「Motoミニ6Hours」としてリニューアルいたしました。決勝(ファイナルイベント)のスタートはル・マン式、スターティンググリッドはくじ引きで決定されます。決勝中は給油制限やラップタイム制限、ミニゲーム(アトラクションピット)など、ライダーの速さを競うだけでなく、ピットクルーを含め、チーム一丸となって6時間後のゴールを目指していただくイベントです。またミニバイクで速さを追求したい方向けに「MotoミニNEO STANDARD」が2023年からスタートいたしました。

初心者からベテランライダーまで、手軽にモータースポーツをお楽しみいただけます。

サーキット走行経験がない方でも安心して決勝(ファイナルイベント)を迎えられるよう、事前にMotoフェスティバル走行会を実施し、走行ルールを学ぶステップが用意されています。本イベントにご参加いただくには、走行実績や走行ライセンスが必要となりますので、準備物や決勝(ファイナルイベント)までの流れを本手引きにて事前にご確認いただき、皆様お誘いあわせの上、ご参加ください。

MotoGP™が開催される国際レーシングコースをミニバイクでぜひ体験してください!

モビリティリゾートもてぎ
Motoフェスティバル事務局

目 次

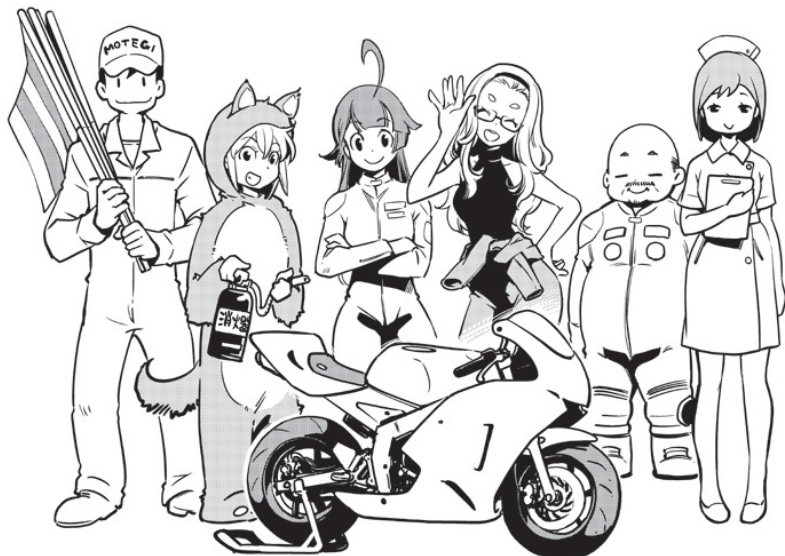
特に重要な内容	表2(表紙裏)
Motoフェスティバル イベント趣旨	3
参加の手引き	
はじめに	5
1) Motoミニ 6Hoursって？	
2) 参加資格について確認しましょう	
3) Motoフェスティバル走行会で練習をしましょう	6
・初心者走行枠	
・ロードコースバスガイド走行	
・車検相談会	
・安全運転座学	
4) 参加できる車両について	7
5) 装備品の準備と確認事項	8
6) 参加までのステップ	10
①W E B エントリー：代表者登録	
②代表者に確定したゼッケンのご連絡、案内送付	
③W E B エントリー：チーム編成登録	
④参加受理書発送	11
7) ファイナルイベント当日の流れ	
①参加受付	
②公式車検・装備品検査	
③プリーフィング	
④スタート前チェック	12
⑤スタート進行	
1.グリッドへ車両移動	
2.ウォームアップラップ	
⑥スタート	
・ペナルティーについて	
・レース中の燃料補給について	13
・速さだけでは勝てないイベントルール	14
・決勝(ファイナルイベント)の一時停止	
- 赤旗	
- 黄旗+SCボード(“フルコースコーション”)	
⑦ゴール	15
⑧表彰	16
●賞典	16
～サーキットのルールとマナーについて～ 参加するための心得!!	
●ロードコースの走行の仕方について	
レコードラインイメージ図	17
・コースイン	
・ビットイン	18
・コースアウト	19
●ピット・パドックの使用方法について	
●ピットサインエリアについて	20
●ピットレーンについて	
●競技参加者の遵守事項	22
コースイン/コースアウトのルール	23
公式シグナル	表4(背表紙)

参加の手引き

はじめに

モータースポーツは、ルールに則って運営される競技です。

皆様が安全に参加していただくために、参加資格や車両、ルールについて様々な規則があります。参加の手引きとは別に「Motoフェスティバル特別規則書」を必ず確認いただき、開催日までに準備をしましょう。会社の同僚、学校の仲間、学生、家族・友人など、参加する仲間を募っていただき、是非ご参加ください！



©RT しめきり (さいと一栄、左折、おりもとみまな)

1) Motoミニ 6Hoursって？

ミニバイクによる6時間の耐久レースです。ライダーは2～6名まで登録することができます。レース中にメンバー交代をしながらチーム一丸となりチェッカーを目指しましょう。

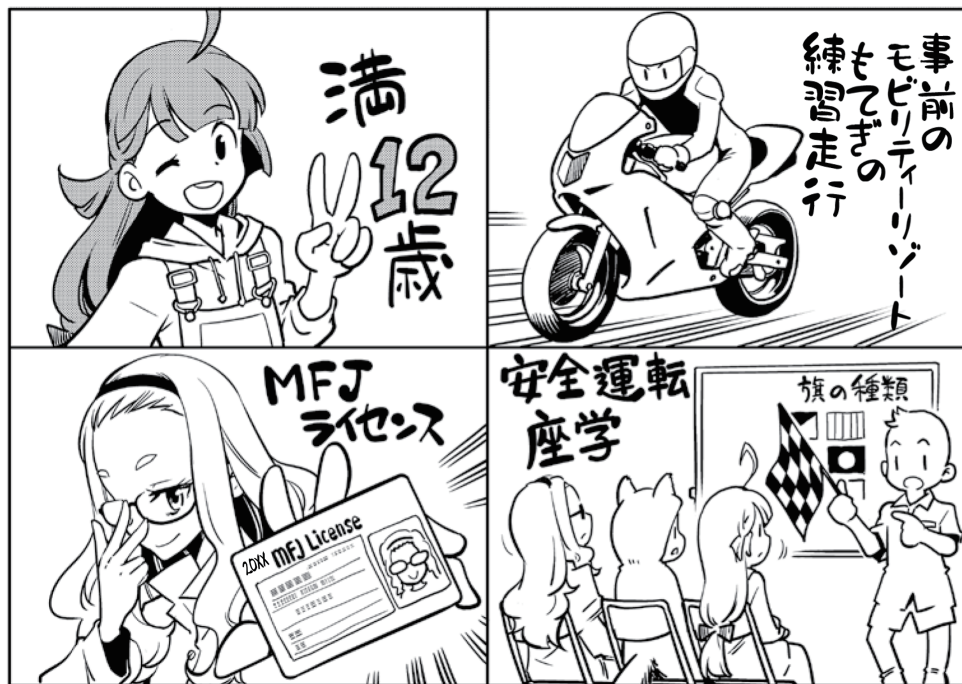
2) 参加資格について確認しましょう

登録できるライダーには、参加条件があります。

必要なライセンスや、走行経験の条件などは**特別規則書の第5条に記載**されています。条件が満たされていないと参加することができません。いつまでに何が必要？というのはエントリー前に必ず確認するようにしましょう。

以下の4つの条件を満たしていれば、どなたでもご参加いただけます。

1. 年齢が満12歳以上 (申込時)
2. MFJの競技ライセンス
3. ライダーの走行経験条件 →Motoフェスティバル走行会にご参加ください！
4. 安全運転座学の受講 (MFJエンジョイライセンス・ピットクルーライセンスで参加される一部の方は必須です)



©RTしめきり (さいとー栄、左折、おりもとみまな)

3) Motoフェスティバル走行会で練習をしましょう

初心者を対象としたイベントのため、走行ルールやマナーを身につけていただくために「Motoフェスティバル走行会」を実施いたします。こちらは本戦に参加するための走行経験条件に含まれます。

Motoフェスティバル走行会は、本戦までに3回開催する予定なので、エントリー予定の方はまずはこちらの走行会にご参加ください。車両は車両規則に準じた仕様であれば参加できます。

また、走行会当日はサーキットアドバイザーがおりますので、ライディングのことや車両についてお気軽にご相談ください。皆様の不安に思っていることや疑問をサポートいたします。

Motoフェスティバル走行会では、フリー走行の他に下記のスケジュールも予定しております

- **初心者走行枠**

初心者向けの走行です。先導走行を中心にアドバイザーが個別にアドバイスを行います。

- **ロードコースバスガイド走行**

バスにアドバイザーが同乗し、コースの各地点で具体的なルール・マナー・走行のポイントを説明いたします。

- **車検相談会**

走行会当日に車検相談会を実施いたします。車両規則についてのセッティングの質問を承ります。

- **安全運転座学**

参加条件の1つとなる座学講習会をMotoフェスティバル走行会時に実施します。

MFJエンジョイライセンス・MFJピットクローライセンスでご参加の方で、かつMCoM会員(もてぎの走行会員)でない方は受講が義務となります。走行会には必ずお越しください。

なお、**大会当日には安全運転座学は実施いたしません**ので、受講義務対象者は事前に受講してください。
未受講の場合は参加することができません。

(○は受講義務あり)

所持資格	MFJ 国内	MFJ フレッシュマン	MFJ ジュニア	MFJ エンジョイ	MFJ ピットフルー
MCoM ライセンスあり	—	—	—	—	—
SMSC ライセンスあり	—	—	—	○	○
非会員	—	—	—	○	○

お得に参加するなら**MCoM北ショートコース2輪会員**がおすすめ！

●非会員の場合

登録料3,200円＋暫定共済会費7,000円＋走行会時暫定共済会費7,000円×3回＝**31,200円**

●北ショートコース2輪会員の場合

初回登録料10,000円＋年会費10,000円＋年間共済会費10,000円＝**30,000円**

(Motoフェスティバル走行会に3回参加の場合)

北ショートコース2輪会員の方が1,200円お得！

翌年以降は11,200円お得!! (年会費＋年間共済会費＝20,000円)

さらにMCoM会員になるとレース観戦無料(一部除く)、観戦券割引、場内施設の割引利用など
 さまざまな**会員特典**がございます!!

詳しくはホームページをご確認ください。 <https://www.mr-motegi.jp/mcom/entry/privilege/>



走行が初めてで、フリー走行に不安があるという方は他のライダーから初心者であることを認識してもらうために黄色のビブスを着用してください。貸出を希望される方は、走行会参加受付時にお申し出ください。走行会のご案内とお申込みはモビリティリゾートもてぎのホームページをご確認ください。

4) 参加できる車両について

・主な参加車両は以下のとおりになります。

GROM



※アンダーカウルが必要です

MONKEY



※アンダーカウルが必要です

NSF 100



(NSF 100クラスに限られる)

APE 100



※アンダーカウルが必要です

XR 100



※アンダーカウルが必要です

KSR110



※アンダーカウルが必要です

Z125PRO



※アンダーカウルが必要です

排気量が100cc 以下の4サイクルエンジンを搭載した公道用一般市販車も参加できます。

その他下記の競技専用車両とクラスにより参加できる車両が限定されています。

YAMAHA TTR90

Honda HRC GROM、NSF100、XR100R、CRF100F、XR80、XR70、XR50、

CRF50、Z50R、ドリーム50R

同じ車両でも車両の状態によって参加できるクラスが変わる場合があります。特別規則書にある車両規則を確認し、どのクラスで参加できるか確認しましょう。

※その他の車両につきましては事務局までお問い合わせください。

開催クラス	参加車両
グロメットクラス	一般市販GROM（4速）、一般市販GROM（5速） HRC GROM（4速）MONKEY 125
HRC GROM Cup	HRC GROM（4速）、一般市販GROM（4速） HRC GROM（5速）、一般市販GROM（5速）
NSF100クラス	HRC NSF100
モトミニクラス	TTR90、XR100R、CRF100F、 XR80、XR70、XR50、CRF50、 Z50R、ドリーム50R 排気量100cc以下の4サイクルエンジン搭載の一般市販車 例) APE100、APE100タイプD、XR100モタード
エンジョイクラス	APE100、APE100タイプD、XRモタード
ミニグリーンクラス	KSR110、KSR110PRO、Z125PRO

5) 装備品の準備と確認事項

レースに参加するには装備品の準備も必要です。以下の内容で開催当日の公式車検で確認しますので合致するものか事前に確認をお願いします。装備品に不備がありますと参加ができなくなってしまいます。

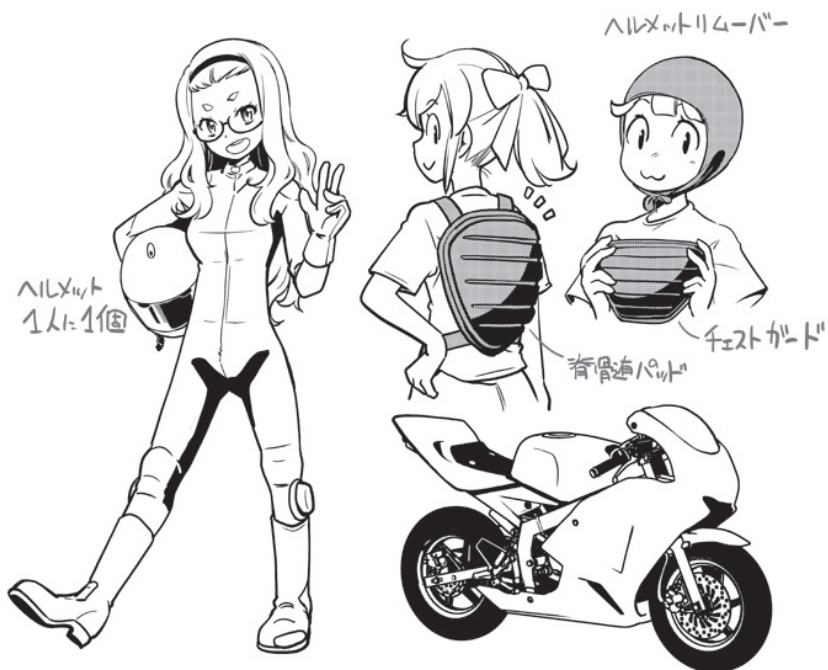
下記は抜粋になりますので、準備するには特別規則書を必ずご確認ください。

装備品	確認事項
ヘルメット	外観の傷がないか MFJ公認マークがあるか ヘルメットリムーバー着用
レーシングスーツ グローブ ブーツ	革製品もしくは同等の強度を有する素材のものか やぶれはないか MFJ公認マークがあるか
胸部プロテクション (チェストガード)	外観の傷、ほつれがないか CE規格「EN1621-3(Level1 またはLevel2)」の使用が義務
脊柱プロテクション	外観の傷、ほつれはないか 外側は硬質の樹脂製素材でなくてはなりません (レーシングスーツ内側装着タイプを強く推奨します) CE規格「EN1621-2(Level1 またはLevel2)」の使用が義務

装備品	確認事項
エアバッグ（2輪用）	やぶれ等ないか 22歳以下または55歳以上、MCoM・SMSCロードコース非 会員のライダーは着用が義務

（下記表で○に当てはまる方はエアバッグ装着義務対象です）

ライセンス区分／ライダー年齢	22歳以下	23歳以上54歳以下	55歳以上
MCoM ロードコース会員 SMSCロードコース会員	○	—	○
MCoM 北ショートコース会員 SMSC南コース会員 非会員	○	○	○

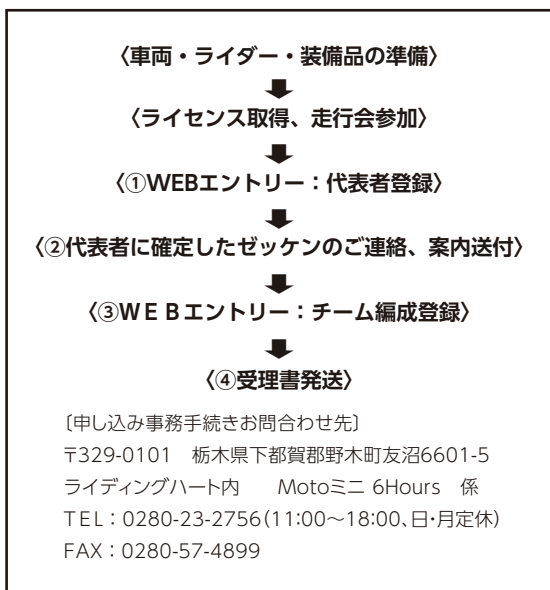


©RTしめきり（さいとー栄、左折、おりもとみまな）

車両規則や装備品についてご不明な点がございましたらお気軽に下記までお問い合わせください。
モビリティリゾートもてぎ モータースポーツ課 Motoフェスティバル車検担当
電話番号：0285-64-0200(10:00～16:00)
担当が不在の場合は後日折り返しでご連絡させていただきます。

6) 参加までのステップ

参加資格と車両・装備品の準備が整いましたらエントリーです。
お申込みの流れは以下のとおりです。



①WEBエントリー：代表者登録

モビリティリゾートもてぎ Motoフェスティバルホームページよりお申込みいただけます。
まずはWEBページよりチームの代表者の登録と希望ゼッケンを登録します。登録時に第5希望まで申請いただけます。希望ゼッケンは申込みの先着順で決定され、申請のないチームにつきましては、大会事務局にて決定いたします。希望したゼッケンが重複してしまった場合、ライディングハートよりメールにてご連絡いたします。メールの返信期限までに回答が無い場合は事務局にて決定いたします。
参加申込期間は、特別規則をご確認の上、締切日が過ぎてしまわないよう十分気を付けましょう。

②代表者に確定したゼッケンのご連絡、案内送付

代表者の方に確定したゼッケンと参加当日までのご案内をお送りいたします。

③WEBエントリー：チーム編成登録

WEBページより、参加車両、ライダー、ピットクルーの確定情報を登録します。ライダー詳細情報（住所、緊急連絡先、ライセンス番号、誕生日、血液型等）、ピットクルー詳細情報（ライセンス番号など）が必要です。

登録するのには何が必要?などはチーム代表者の方にご案内をお送りしますので、そちらをご確認ください。
併せて代表者の方は、参加するライダーの参加資格が満たされているか必ず確認をお願いいたします。
こちらも入力の締切日がありますので、特別規則項目に掲載している期日を守ってお手続きください。
チーム編成の際に参加料やライダー・ピットクルーの登録料、暫定共済会の決済手続きがございました。
※一度ご登録いただいた後でも内容を変更できますが、変更ができる期日が決まっていますのでご注意ください。

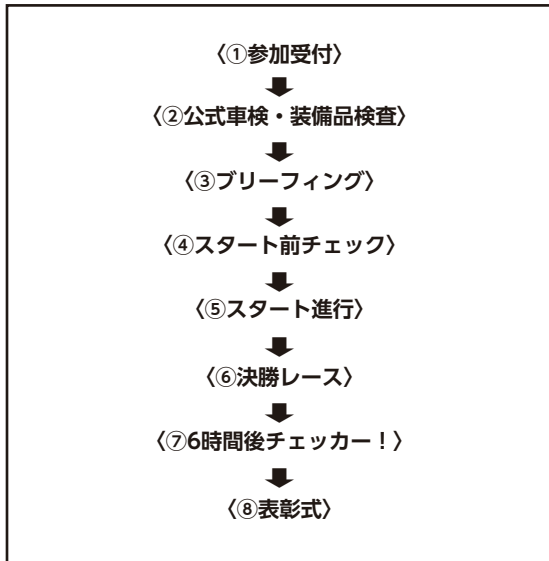
期日を過ぎてしまいますと変更手数料がかかります。手数料につきましては特別規則書をご確認ください。

④参加受理書発送

代表者の方に、参加受理書やパスを発送いたします。参加受理書を当日忘れずにお持ちください。
参加受理書のほかに、当日のご案内(インフォメーションやパドック・ピット割り)と参加受付でご準備いただくものを「Motoミニ 6Hours参加者専用情報ダウンロードサイト」に掲載いたします。
※ピット割りに関しまして双方のチームに同ピットの希望がある場合、「Motoミニ 6Hours参加者専用情報ダウンロードサイト」に掲載される「同ピット申請書」をライディングハート宛でFAXを送信してください。(受付期間は申請書でご確認ください)。ピット全体の配分を考慮し検討しますので、希望に添えない場合もあります。この申請は任意です。

7) ファイナルイベント当日の流れ

いよいよ6時間のイベントが開始となります。当日の流れは以下を予定しております。



①参加受付

会場に到着したら参加受付を行ってください。当日に余裕ができるよう受付や車検は前日にお済ませください。参加受付では、過不足金の精算、腕章配布、グリッドくじ引き、計測器配布を行います。

②公式車検・装備品検査

車両規則に合致しているか・装備品に不備がないかオフィシャルが検査します。事前に車検チェックリスト、ライディングギアチェックシートを記入のうえ、書類、車両、装備品を仮設車検場に持ち込みます。車検に不合格の場合、参加できなくなってしまいます。

《車両検査の注意点!》

不明な点がございましたら**当日に確認するのではなく、開催日より前**にお問合せください。お電話だけでは明確にお答えできない場合がございます。できる限りMotoフェスティバル走行会などで車両を**実際に持ち込んでいただき、ご相談**ください。

③ブリーフィング

ブリーフィングは、全ライダーが事前にブリーフィング映像を視聴確認することに加え、開催当日対面にて

情報伝達する2つの方法で実施します。全ライダーは、Motoフェスティバルの情報ダウンロードページに掲載されるブリーフィング資料を確認し、ブリーフィング映像を視聴してください。チーム内で1人でも手続きに不足があった場合はペナルティーが科されてしまいます。ブリーフィング内容は、イベントの参加にあたって、注意事項や重要なお知らせ、スタート進行の方法をお伝えしますので特別規則書と併せてしっかりと確認をお願いいたします。

④スタート前チェック

スタート前に再度、車検場にて安全のために車両最終チェックを行います。

公平を保つために車両をオフィシャルの見えるところに置く必要があります。これ以降は、車両への作業はできません。このスタート前チェック以降、車両をピットガレージ内に入れると失格になってしまうのでお気をつけください。

⑤スタート進行

1.グリッドへ車両移動

通常レースといえば、決勝のグリッド順を決定する予選走行がありますが、Motoミニ 6Hoursは予選走行がありません。グリッドは、クラスごとにグループを作り、その中でグリッド抽選を行います。クラスごとのグループは後日ご案内いたします。参加受付のグリッド抽選後にグリッド順が発表されますので、スタート進行前に自分のチームのグリッドを確認してください。車両移動はピットサインエリア側のグリッドに自身の車両を手押しで並べます。スタートライダーはピットサインエリアの対岸のコース左端の白線に移動します。ピットクルー1名は車両を支えます。また、スタートライダーがエアバッグをつけている場合、もう1名のピットクルーも車両付近でハーネス取付けのサポートができます。

2.ウォームアップラップ

コースを1周ウォームアップ走行し、元いたグリッドに車両を並べ、いよいよスタートです！

⑥スタート

スタートは、憧れのル・マン式です。旗が振られたら、スタートです！台数が多い場合には、最大3グループに分かれて、グループごとにスタートを行います。気持ちが高ぶって、つい本来のスタートより早く走り出した方には、ジャンプスタートのペナルティーが科せられますのでご注意ください。

スタートに自信がない方は、皆がスタートした後に自分のペースで最後尾からスタートすることができます。

「後方からのスタート申請書」がございますので、ご希望の場合には期日までに事務局へ申請してください。

決勝がスタートしたらMotoミニ 6Hours独自の特別規則がいくつかあります。違反をするとペナルティーが科せられてしまいます。チームの皆様で特別規則をしっかりと確認して、ゴールを目指しましょう。

・ペナルティーについて

安全に走行し、「みんなでBIKEを楽しむ」ためにライダー・ピットクルー・応援の方など、全ての参加者の方にルール・マナーを守っていただく必要があります。参加の手引きと特別規則を守ることが出来ない場合には、ペナルティーが科せられます。

ペナルティーは安全面、競技性、悪質性など考慮し、重大なものは失格になる可能性もあり、罰金、ファイナルイベント中のペナルティーストップ、ライドスルーペナルティー、結果周回数減算、始末書、厳重注意などがあります。

Motoミニ 6Hoursでは、それに加え参加者の皆さんが安全で気持ちよくイベントを楽しんでいただくためにイエローカード制度を導入しております。危険行為や、ルール・マナー違反、Motoミニ 6Hoursを楽しむ精神に反する行動をとったチームに対し、イエローカードやレッドカードを提示し、明確な注意をさせていただきます。重大な違反行為には、イエローカードの段階を踏まずにレッドカードが提示されることもあります。

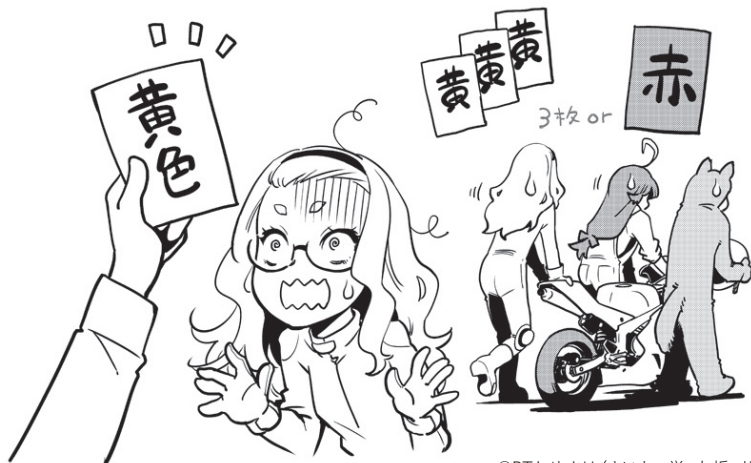
イエローカード制度は、Motoフェスティバル走行会・Motoミニ 6Hoursに関する諸手続きからMotoフェスティバル決勝まで適用となり、イエローが3枚たまるとレッドカードとなり、決勝参加不可となる場

合や、決勝中に提示を受けると、即退場していただくことになってしまいます。また、レッドカードの提示を受けたチーム員（ライダー、ピットクルー含む）は次年度の参加をお断りさせていただきます。

※黄色ビブスを着用して走行しているライダーへの接触・進路妨害などが確認された場合はイエローカードが提示されます。

無理な追い越しやマナー違反などが見受けられた場合もすべて対象となります。

イエローカードの運用方法については規則書のペナルティー項目をご確認ください。参加する全員が無事にイベントを終了できるようにご協力をお願いします。

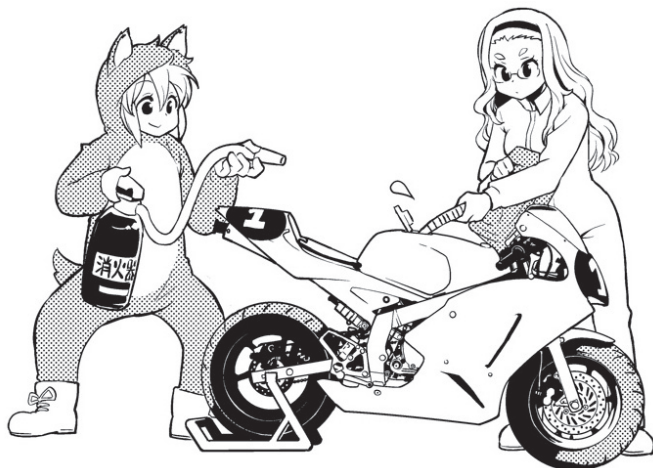


©RTしめきり (さいと一栄、左折、おりもとみまな)

・レース中の燃料補給について

Motoミニ 6Hoursでは、決勝（ファイナルイベント）中の燃料補給について制限があります。

- ・第1パドックガソリンスタンドの燃料を使用してください。
- ・1回の給油は3リットルまでです。
- ・給油は大会事務局より支給された携行缶を必ず使用してください。
- ・給油の際は必ず消火器を構え、燃料がこぼれないようにしてください。



©RTしめきり (さいと一栄、左折、おりもとみまな)

・速さだけでは勝てないイベントルール

・1周2分50秒より速いタイムがでてしまったチームにはペナルティー！

◎1周2分50秒より速いタイムが出てしまったチームには、ペナルティーストップ3分を科します。
燃料補給もありますので燃費とタイムに十分気を付けて走行しましょう。

・アトラクションピットでミニゲームクリアしてコースに復帰！

◎アトラクションピットをレース中に通過していただきます。

アトラクションピットではくじ引きをして、くじ引きで出た内容のミニゲームをしていただきます。

ミニゲームをクリアするかくじ引きで『スルー！』が出たらコースに復帰することができます。

アトラクションピットは、決勝レース開始1時間後からチェッカー予定時刻の1時間前までに消化してください。

・決勝（ファイナルイベント）の一時停止

決勝（ファイナルイベント）中に、天候上の理由、あるいはその他の理由からレースの中断を決定した場合、赤旗を掲示するか、「セーフティーカー」を導入する方法のいずれかで中断します。

なお、走行中のライダーへの情報伝達は旗の掲示とライトパネルにて告知されます。

－赤旗

すべてのライダーは最大限の慎重さと注意を持って、それぞれのピットに戻ってください。追越し禁止です。

－黄色+SCボード（“フルコースコーション”）

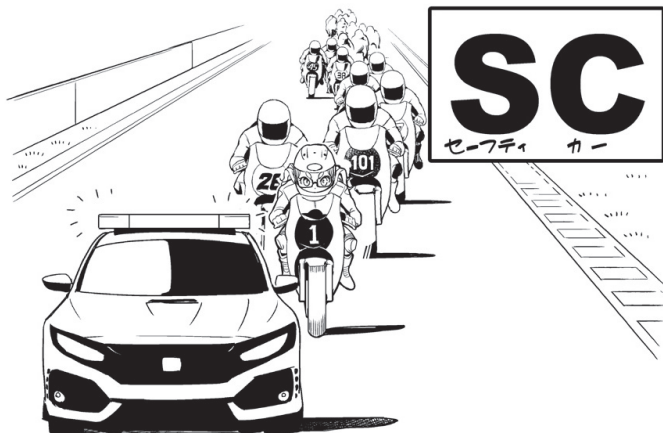
すべてのポスト（監視小屋）において黄旗の振動表示とSC（セーフティーカー）ボードが提示され、レースは中立化（注意・減速・追い越し禁止）されます。

ライダーはスロウダウンし、他のライダーを追い越すことはできません。ピットに入る必要はありません。

1～2台のセーフティーカーがコースインし、競技車両を先導します。この状態を「フルコースコーション」と呼びます。

コース上はオイル漏れにより転倒が多発し、部品が散乱しているかもしれませんので、周囲に注意を払い、追突や接触がないよう注意して1列に整列し走行してください。この状態中の周回は、競技周回数としてカウントします。

天候上の理由、あるいはその他の理由となるものが取り除かれたら、セーフティーカーは、ピットインしレースを再開します。SCの解除で追越しが可能となるのは、ホームストレートのコントロールライン（フィニッシュライン）を通過してからです。気持ちが先走ってしまい、ついライン手前で追越ししてしまう「追越し違反」は重大なペナルティーですので、特にご注意ください。



©RT しめきり（さいと一栄、左折、おりもとみまな）

⑦ゴール

規定時間を走りきるとチェッカーです。このイベントはまずは完走することに意味があります。周回数の多いトップ車両からチェッカーが振られます。チェッカーが振られると、ピットレーン出口がクローズされ、コースに入れません。チェッカー時にピットに留まっていた車両は、チェッカーを受けることはできませんが、コース上でチェッカーを受けたチームの順位が優先されます。順位認定については規則書をご確認ください。

チェッカー後は、全車は指定場所で保管解除の指示があるまで車両保管となります。再車検を行う場合がありますので、車両に一切触れないでください。上位車両および抗議の対象となっている車両は、再車検を行います。

分解検査を行いますのでピットクルーの方は分解できる工具を持って車両保管場所へお越しください。分解検査完了後に、正式決勝結果が発行されるため、正式結果発行には時間がかかる場合があります。



©RTしめきり (さいと一栄、左折、おりもとみまな)

⑧表彰

決勝終了後、表彰式を行います。ライダー、ピットクルー、ヘルパーの皆様も是非ご参加ください。



©RTしめきり (さいと一栄、左折、おりもとみまな)

●賞典

Motoミニ 6Hoursでは、順位と関係がない多くの特別賞を予定しています。

申請チームの中から決定する女性ライダー賞、ベストデザイン賞、ベストユニフォーム賞などもあり、多くの参加者が笑顔で帰宅できる賞を用意しています。

～サーキットのルールとマナーについて～ 参加するための心得！！



参加する全ての方が、ルール、マナーを守っている、という共通認識がなければ、みんなで安全にサーキットを楽しむ事はできません。

参加資格の走行経験は、安全に楽しんでいただくための最低基準です。怪我なく安全走行を楽しんでもらうためには、さらに練習を重ね、安全に走行するための知識を学ぶことが非常に重要です。以下が基本内容です。

- ① コース走行する者は全て、フラッグおよびライトパネルを確認し、それに従う義務があります。
- ② 通常予想できない地点での不必要な急減速をしてはなりません。
- ③ いかなる場合も、逆方向への走行あるいは規定外のコースを走行してはなりません。
- ④ 直線部分では、前車を追い越す以外の目的で進路を著しく急激に変更することは禁止されます。
- ⑤ 他のライダーの走行を妨害するような走行をしてはなりません。
- ⑥ 必要以外にハンドルから手を離したり、足をステップから離す、また、外に突き出したりするような危険な姿勢をとってはなりません。

特に走行中のルール違反、マナー違反については、走行中の他の参加ライダーに危険がおよぶ場合があります。

やむを得ず走行時に接触したなどの場合には、相手が怪我をしてないかなど気遣う思いやりが必要です。

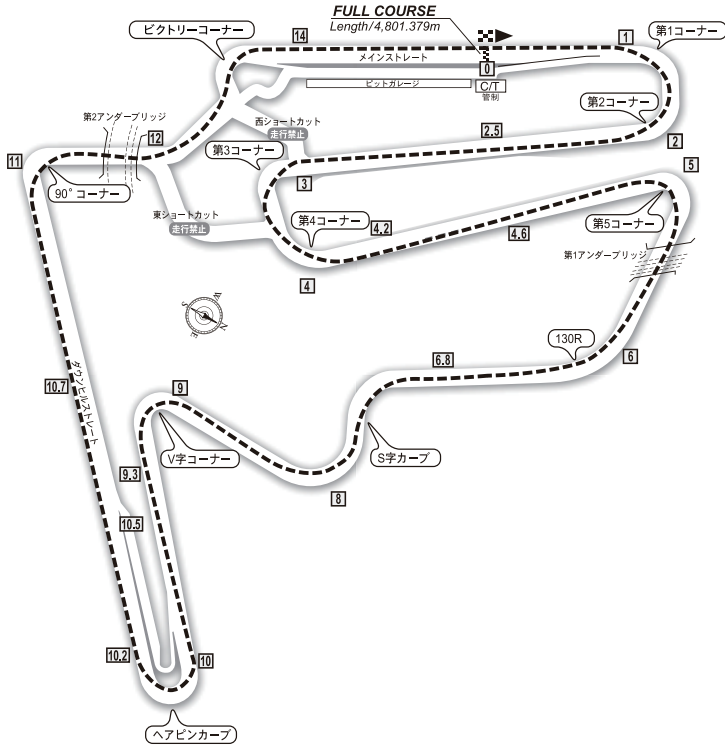
●ロードコースの走行の仕方について

ロードコースは、ロードレース世界選手権も開催されるモビリティリゾートもてぎの国際格式のロードコースで、右に8つ、左に6つのコーナー、2つのトンネルがあり、幅員は12～15m、高低差は30.4m、全長距離4.801kmあります。走行車両がアスファルト路面からオーバーランしても、芝上に落ちないように、縁石が走行ライン付近に敷いてあります。また、大きくオーバーランしてもすぐにガードレールに接触しないように、コースからガードレールは遠くに設置しており、オーバーランした地面にはスピードが落ちるよう玉砂利が敷きつめてあります。

ロードコースは、右回りの一方通行で、各コーナー・カーブに名称がつけられています。コースには、レコードラインと呼ばれる仮想ラインがあります。実際のコースに線が引かれているわけではありません。レコードラインは、コースを無理なく出来る限り安全にかつ速く走るための理想的な走行軌跡の事です。排気量や運転技術で若干の差がありますが、コース走行しているどんな車両も、おおよそ全て数m幅の同じ走行軌跡を走行します。幅広いコースですが、その中でも車両が走行する(仮想のコース)目に見えない一定のラインがあるイメージです。サーキット走行では、このレコードラインを走行する車両が優先となり、レコードラインを走行する車両を妨げてはなりません。

レコードラインイメージ図

※車両やライダーの運転技術によりレコードラインは異なります。この図はイメージです。



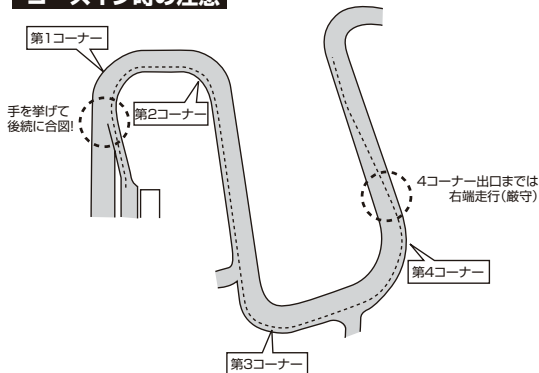
スロー走行車は、モビリティリゾートもてぎの場合コースの右端を走行しなければなりません。レコードラインを走行するライダーを妨げないように配慮しなければなりません。

・コースイン

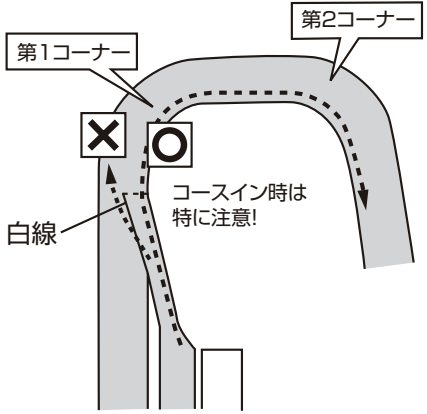
後続車に手で合図をして、第4コーナー立ち上がりまでコース右端を走行してください。後続の車両の走行を妨げないようにしてください。

※コースイン直後にレコードラインに合流して、追突事故になった事例があります。

コースイン時の注意

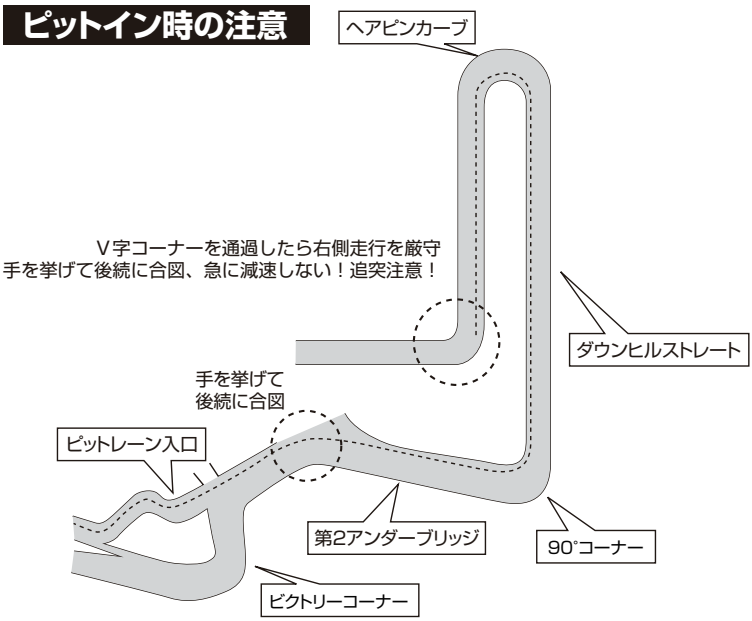


すでにコースを走行している車両とコースインした車両の衝突を避けるために、ピットレーン終わりからコース上に白線があります。この白線を越えてコースインするとレコードラインと重なり大変危険です。白線を越えてコースインした場合は罰則を科す場合があります。



・ピットイン

ピットインする車両のライダーは、V字コーナー出口より後方を確認したのち、コース右端に車両を寄せ、手または足でピットインの合図を行なったのち、安全を確認しピットレーンを徐行しなければなりません。



●コースアウト

- ①コースアウトしたら、コースから外れ安全な場所へ車両を移動してください。絶対に、コース脇で再スタートを試みてはいけません。
- ②コース上やコース脇で車両を押してピットに戻ることは禁止です。レッカー車が回収に向かいますのでガードレール外側でお待ちください。
- ③コースに復帰する場合は後方を確認したのちコースに復帰することができますが、マシンの確認（破損・オイル漏れ・グラベルの砂利等）も留意してください。
- ④トラブルなどで走行を止める場合は、マシンをコース外の安全な場所に止めてから退去してください。
- ⑤自分が転倒もしくは故障で停止した場合、二次災害の防止つまり後続車にひかれる、あるいは後続車を転倒させる等の事故の増大を防止するように心がけてください。
- ⑥転倒したら状況判断によりまず安全な場所へ避難してください。特にオイルによる転倒は、後続車も同じ場所で続々と転倒してくる可能性があるので注意してください。
- ⑦安全な場所から、でき得る限り後続車へ知らせる努力をすること。安全なタイミングを見て電源と燃料コックをオフにして火災やガス漏れを防止してください。また、可能な限り散乱部品を撤去してください。
- ⑧ガードレールの外に出るまでは、ヘルメットを着用してください。
- ⑨転倒したマシンは、オイル・ガソリン等をこぼす場合が多いので、転倒車両を目撃したら次の周回は充分注意して走行してください。
- ⑩安全な場所でマシンが走行可能かどうか確認した後、コース復帰できます。
- ⑪オイル・ガソリン・冷却水・ブレーキオイル等の漏れがないか確認する。漏れがあった場合は、無理にピットまで帰還しないでください。
- ⑫走行に危険がある部分の破損、重要保安部品の破損、または破損部が鋭利になっていないかを確認してください。
- ⑬カウリング内に泥、砂利、草等が入っていないか確認し、タイヤに泥が付着したままライン上に復帰しないでください。
- ⑭後方の安全を充分に確認して余裕を持ってコースに復帰してください。

●ピット・パドックの使用方法について

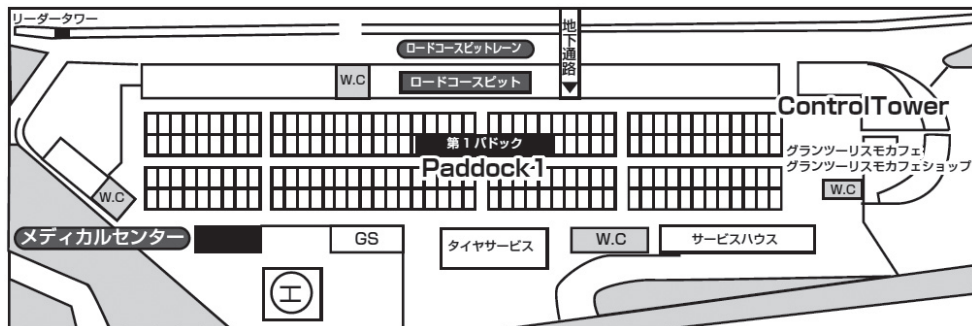
パドックとは、車両を駐車するスペースです。

駐車する場所は、大会事務局により指定されます。指定された場所以外に止めることは禁止です。

指定された駐車枠以外の場所取りや駐車枠の専有が見受けられた場合、当該チームにイエローカードが科されます。

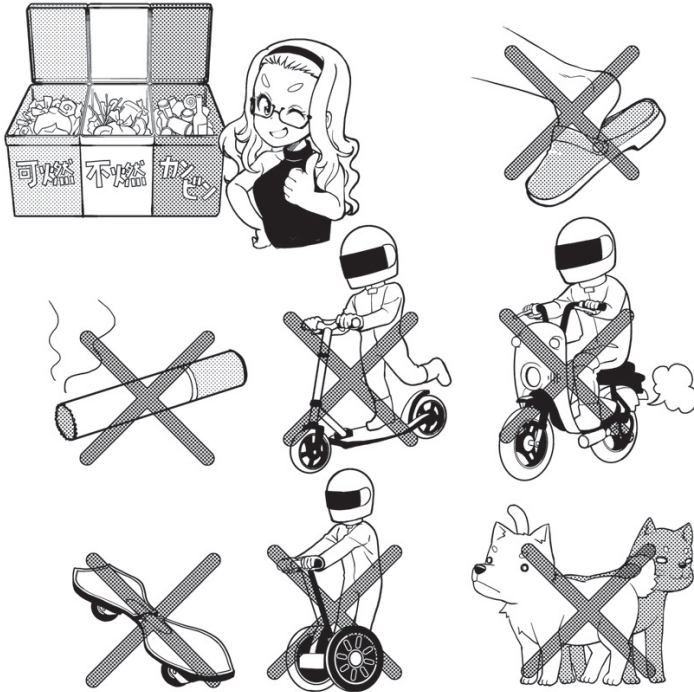
パドックは、走行車の往来が多く接触の危険があるため、ペット同伴や、マシンのウォーミングアップ走行、ブレーキテストは出来ません。パドック内での移動は荷下ろしや搬入/撤収時などを除き徒歩・もしくは自転車のみとします（電動アシストなどの動力付きは不可）。

盗難および事故につきましては責任を負いかねますので、各自責任を持って管理してください。



ピット・パドックは、ガソリンや多くの可燃物を取り扱うため、火気厳禁です。タバコは喫煙所にてお願いします。

違反した場合は、ペナルティーが科せられます。



©RTしめきり (さいと一栄、左折、おりもとみな)

●ピットサインエリアについて

ピットレーンとロードコースを挟むように、走行しているライダーにサインを出すピットサインエリアという場所があります。

多くのピットクルーがここに滞留すると危険なので、各チーム2名までと入場が制限されています。

ピットサインエリアに行く際は、走行している車両に接触しないように、十分注意してピットからピットレーンを横断してください。ピットサインエリアはMS共済会に加入しピットクルー登録され、ピットクルー腕章を身につけた方のみ立ち入れます。また、16歳未満のお子様の立ち入りはできません。また着ぐるみ等視界や行動を制限された状態でのピットレーンの横断はご遠慮ください。

ピットサインエリアはコースに接しているエリアなので、傘・パラソル・のぼり等、風で飛ばされやすい物は持ち込んではいけません。雨天の場合にはカッパを着用してください。

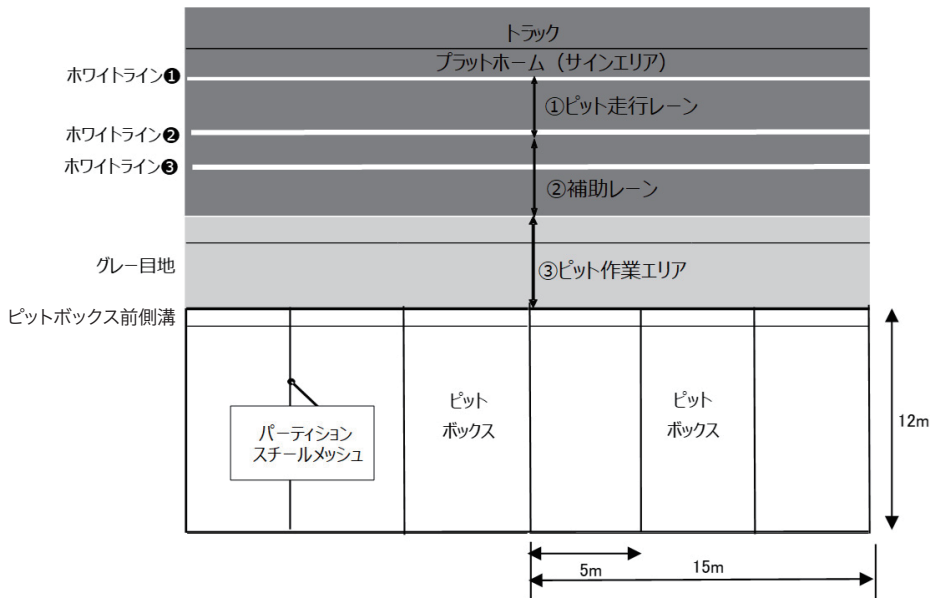
ピットサインエリアに日よけやイスを設置する場合には、同じエリアを使用するチームや隣のチームに配慮し、迷惑とならないようにしてください。

●ピットレーンについて

ピットレーン（ピットボックス前の部分）は、次の3つに区分されます。60km/h以下の速度で徐行してください。

ピットレーンでの追い越しは禁止です。

- ①ピット走行レーン： ピットサインエリアとホワイトライン②の間の部分。
ピットインおよびピットアウト専用の区域です。
- ②補助レーン： ホワイトライン②とグレー目地(コンクリート路面)の間の部分。
ピット走行レーンからピット作業エリアへ移動する時(あるいはその逆)に通過する区域です。
イベント役員を除き、この区域にとどまることは禁止です。
- ③ピット作業エリア： グレー目地(コンクリート路面)とピットボックス前側溝(ピットレーン側)までの部分。
ピット作業のための部分であり、車両の停車を行う区域です。走行禁止です。
- ※コース走行同様にピットレーンの逆走もできません。



●競技参加者の遵守事項

参加する皆さんが気持ちよく参加でき、モータースポーツへさらに多くの参加者が楽しめるように、競技に参加の方は以下の遵守が必要です。以下はMFJ 国内競技規則書『競技参加者の遵守事項』の抜粋です。よく確認いただき、チームの皆様で共有をお願いいたします。

- ・ 競技会の会場においては、観客やメディアに対してモーターサイクルスポーツのイメージを損なわないよう、言動や服装に配慮しなければなりません。
- ・ 常にスポーツマンとしての態度を保ち、品位に欠ける言葉や行動は厳に慎まなければなりません。
- ・ 差別的な発言や他者を貶めるような発言は慎まなければなりません。
- ・ 人種や性差別等、不適切なメッセージや表現の書かれた衣服を着用してはいけません。
- ・ 刺青（タトゥー）を露出することは慎んでください。
- ・ 参加するにあたって MFJ国内競技規則及び、当該大会の特別規則、公式通知を熟知しその定めに従わなければなりません。
- ・ 競技会中は、MFJ国内競技規則並びにその他諸規則に従って行動して、すべての行動に対して責任を持たなければなりません。
- ・ 国内競技規則および競技管理上のあらゆる規定および競技役員の指示に従い、かつレース場以外では一般公道の交通規則を遵守しなければなりません。
- ・ 競技に関する業務についている者およびライダーは、アルコール類あるいは薬品（興奮剤、麻薬等）によって精神状態をつくろってはなりません。
- ・ 競技会に参加することが認められた者が出場しない場合（競技現場での不参加を含む）は、その旨を主催者に通告しなければなりません。この通知を怠るか、または欠場の理由が正当でない場合、ペナルティーが科される場合があります。
- ・ 競技期間中にけがをした場合は、程度にかかわらず必ず医務室で負傷の記録を残さなければなりません。当日、やむを得ず通達が出来なかった場合は、事故日から5日以内に大会事務局に通達してください。負傷者名簿に氏名が無い場合は、保険金の請求は出来ません。
- ・ 競技中（走行会も含む）は、他人の迷惑、または危険につながる行為をしてはいけません。
- ・ 競技中（走行会も含む）、他の選手に対して言葉やジェスチャーによる威嚇行動も妨害とみなし、このような言動をとった場合、罰則の対象となります。
- ・ ライダーは、コース（ランオフエリアを含む）にいる間は、MFJが公認したヘルメットを装着しなければなりません。
- ・ 競技監督が必要と認めた場合、ライダーに対し医師団長もしくは指定医師による診断を受けさせ、競技出場の健康上の理由による可否を最終的に決定することができます。（ドクターストップ）

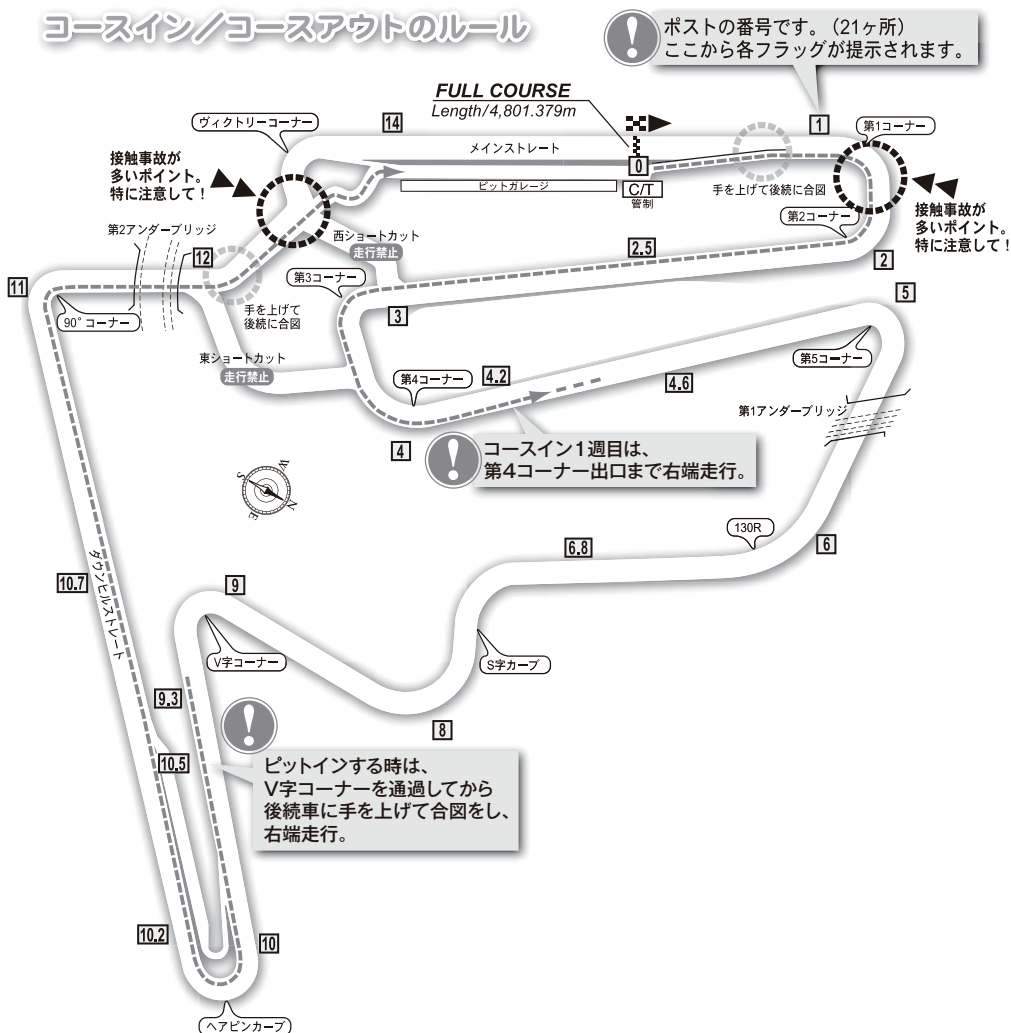
遵守事項が守れなかった場合にはペナルティーやイエローカード・レッドカードの対象となります。

以上のことを遵守し、安全かつスポーツマンシップに則った行動をお願いします。

～みんなでBIKEを楽しむお祭り“Motoフェスティバル”、ご参加を心よりお待ちしております！～


Motoフェスティバル事務局一同

コースイン/コースアウトのルール



SIGNAL FLAGS

公式シグナル

<p>国旗</p>  <p>レーススタート(振り降るされたらレーススタート)</p>	<p>白黒斜分割旗</p>  <p>静止: 前方にスロー走行車両があることを示す。 振動: 前方のスロー走行車両と走行ラインが重なる可能性を示す。</p>	<p>黄旗(イエローフラッグ)</p>  <p>・前方コース及びコースサイドに障害物やその他危険な状態であることを示す。 1本振動: コースサイドに危険な状態を予告 2本振動: コース上に走行を妨げる危険性の予告 ・減速、停止準備、追い越し禁止。</p>	<p>白旗(ホワイトフラッグ)</p>  <p>前方の救急車両等の介入車両に遭遇することを示す。白旗表示位置から介入車両を追い越すまで他のライダーの追い越し禁止。</p>
<p>赤ストライプ付黄旗</p>  <p>雨以外の理由でコース表面が滑りやすい状態。(オイルや落下物がある可能性も含む)</p>	<p>緑旗(グリーンフラッグ)</p>  <p>・コース規制の解除ならびに、提示ポストから黄旗の解除を示す。 ・レース以外の走行の1周目に各ポストで表示される。 ・ウォームアップラップのスタート合図。</p>	<p>赤旗(レッドフラッグ)</p>  <p>競技中断: すべてのライダーは低速で最大限の慎重さと注意を持ってそれぞれのピットに戻る。</p>	<p>黄旗(イエローフラッグ) + 白地に黒文字のSCボード</p>  <p>SCボード セーフティーカー介入によるレースの非競技化(注意・減速・追い越しは禁止) 指示された車両以外セーフティーカーの追い越し禁止。1列で走行すること。</p>
<p>青旗(ブルーフラッグ)</p>  <p>後方よりペースの速い車両が接近し、追い越される状態にある。</p>	<p>レッドクロス (赤い斜め十字の入った白旗)</p>  <p>コース上のこの付近において、雨が降り始めたことを示す。この雨が路面状況に影響を及ぼしている可能性もある。</p>	<p>青旗 + チェッカーフラッグ</p>  <p>ファイナルラップにフィニッシュラインの手前でトップライダーの直前に他のライダーが走行している場合、トップのライダーはチェッカーを意味するが、直前を走るライダーはもう1周することを示す。</p>	<p>チェッカーフラッグ</p>  <p>レースまたはプラクティスセッション(公式予選等)の終了。</p>
<p>黒旗(ブラックフラッグ) + 黒地に白文字サインボード</p>  <p>ボード 当該ライダーに速やかにピットインの指示を示す。</p>	<p>ペナルティーストップボード</p>  <p>STOP 31 ボード 当該ライダーは速やかにピットインし、ピットレーンエンドのペナルティーストップエリアへ進まなければならない。途中ピットに立ち寄ることはできない。</p>	<p>オレンジボール旗 + 黒地に白文字のサインボード</p>  <p>サインボードで示された番号の競技車両は、対象者自身、及び他のライダーに危険を及ぼす可能性があり、速やかにコースから離脱し、安全な場所に停止しなければならない。</p>	<p>ライドスルーボード</p>  <p>RIDE THROUGH 31 ボード 当該ライダーは、レース中、ピットレーンを通過するよう指示される。途中、停止することは認められない。通過後、当該ライダーはレースに復帰することができる。ライダーはピットレーン速度制限を遵守しなくてはならない。</p>

●走行中のライダーへの情報伝達は、旗の掲示とライトパネルにて告知されます。

MOBILITY RESORT
MOTEGI

〒321-3597 栃木県芳賀郡茂木町松山120-1
TEL.0285-64-0200 FAX.0285-64-0209